

[神石高原町立三和小学校]



設計者 (株)NSP設計

施工者 三島産業・安田工業共同企業体

建築概要

建設地	神石郡神石高原町	用途	小学校
構造規模	RC造、一部S造 地上2階建	延面積	3,824 m ²

[推薦概要]

この作品はパネル審査の時点では実直にレイアウトされた写真と図面と設計意図が示されているだけで、目を引くような写真による技巧的なプレゼンテーションが無いために危うくこの作品の真価をみおとすところでした。現地審査に赴いたときに、この小学校の体育館を中心にした教室群のレイアウトがローコストに対応するために体育館の四周の壁を節約するためであり、空間のレイアウトはそのことによってこの小学校の建つ中国山地の冬の寒さを防ぎながら、夏の暑さを防ぎながら子供達の集う広場のような空間を実現した、きわめて優れた設計技術を駆使した作品であることが納得されました。

この体育館の大空間の冷暖房に地熱が利用され、太陽光発電装置の天窓からは光が降り注ぎ、省エネルギーを実現しながら室内広場としての機能や地域のひろし劇場、公会堂、集会室としての機能も併せ持つことが実現されています。体育館から教室へ響く音響の問題も丁寧な吸音、防音の配慮により小学校として問題のない性能が確保され、運動場には冬の雪解けや雨の水によって泥沼にならぬように地域の産業である芝を取り入れるなど、この地域から生まれた近代的で地域的な小学校が形づくられています。

新しいこの地域のリアリティがうみだされた優れた小学校建築として評価されました。これからのひろしまの山間部の小学校の新しいモデルの提案です。

優秀賞

[ローカルコモンズ しんいち]



設計者 清水建設(株)広島支店一級建築士事務所

建築施工者 清水建設(株)広島支店

建築概要

建設地	福山市新市町	用途	有料老人ホーム
構造	S造 地上3階建	延面積	2,995 m ²

[推薦概要]

地域住民と、施設の高齢者との日ごろの触れ合いを意識した設計・デザインと、その実践が高く評価できる。

この施設は、45戸の高齢者向け住宅やデイサービス、障害者就労支援などを提供している。施設に隣接する寺岡記念病院が建築主で、緊急時は病院ですぐに対応できる。従来型の高齢者の福祉施設といえば、社会から隔絶され、入所者にとっては、介護職員や家族、入所者同士のつながりはあるが、それ以外の人との関わり合いはほとんどないまま孤立している。「ローカルコモンズ しんいち」では、柵も塀も設けない開放的な庭を設け、子どもたちや親子などと気軽に交流できる。庭の一角には、畑も設け、施設を利用する高齢者たちが季節の野菜作りに精を出し、できた野菜は朝市で売ったり、施設内のレストランの食材として使ったりしている。自分の育てた作物が第三者に喜んでもらえることは、高齢者の生きがいにもなる。心配なセキュリティー面でも、現在のところ問題は起きていないという。

運営する社会医療法人社団 陽正会の寺岡謙常務理事は「高齢化や人口減の進む地域で、医療や介護が今後、地域とどう溶け込むかが課題」と話す。地域の若い世代が施設と結びつきを強めることで、将来の介護の担い手として育ててほしいという思いもあるそうだ。

審査委員会では、建物の造りや設備については、ほかの高齢者福祉施設と大差はなく特徴を見いだせなかったが、上記の全体設計や理念が「人口減の進む地域におけるモデルになりうる」と称賛された。地域の特性を考慮すると、都市部などでまねのできる設計ではなく、広島県建築士事務所協会が選ぶ「ひろしま建築文化賞」にふさわしい特色があると判断した。

優秀賞

[安芸高田市葬斎場「あじさい聖苑」]



設計者 (株)あい設計

施工者 (株)増岡組

建築概要	建設地	安芸高田市吉田町	用途	葬斎場、火葬場
	構造規模	RC造、一部木造(小屋組一部) 地上2階建	延面積	2,328 m ²

[推薦概要]

この建物は安芸高田市吉田の市街地から県道6号線(吉田邑南線)を北上すること、約4kmに所在し、緑豊かな周辺環境とも調和した静謐な場所に建っている。建物平面は大きく分けて、右側の式場・待合と、左側の火葬場の3ゾーンから成り、通夜から葬儀、火葬にいたる葬祭全ての営みができる施設である。

各ゾーンの間には中央に築山を築き、その周辺には碎石を散りばめた二つの中庭「静寂の庭」を配する。庭の上部は開放され天空や周囲の自然景観が望みでき、視覚的に広がりのある静寂感と安堵感に充ち、心を和ませる空間づくりが行われている。

大屋根もこの建物の特徴の一つである。既存の多くの火葬場の屋根は各ゾーンごとに高さを変えた小さな屋根で構成するものが多いが、当該建物は、東側の火葬場ゾーンの建物最高所から西側の式場・待合ゾーンに向かって緩やかに傾斜させて一体的に覆う大屋根形式とし、他に類を見ない軒先平面形を「J」字状とする独特な形状に仕上げている。

この建物を総合的に概観すると、装飾的要素や華美な仕様はできるだけ避け、大規模な一枚屋根や周囲の自然とのつながりを意識した大きな開口部、「回想の道」や「静寂の道」などにみられる、建築と光によって構成される空間を尊重したいという設計者の意図が感じられる。また、コンクリート打放しや大屋根を支える小屋組での木材の多用、土の質感のタイルなど素材本来の美しさが感じられる仕様としていることなど、「厳粛さの中にも安らぎを感じられる空間」づくりに尽力されている点を高く評価したい。

優秀賞

[中山の家]



設計者 小松隼人建築設計事務所

施工者 (有) ホームテック

建築概要	建設地	広島市東区	用途	戸建住宅
	構造規模	木造 地上2階建	延面積	196 m ²

[推薦概要]

「中山の家」は、広島市の山あいの中腹に区画された住宅地に建つ。外壁の表情が印象的である。3種の濃淡グレー色のガルバリウム鋼板の定尺幅を各2・3・4分割し、ランダムに配列している。屋根とラインを合わせ、単調になりがちな素材に表情を与え、私たちが迎え入れてくれた。

木造2階建て。3つの分棟で構成されており、棟の隙間は外部と内部の中間領域(玄関土間(上部吹抜)～螺旋階段～渡り廊下～中庭へ繋がる領域)となり、採光と通風を生み出す。

夫婦と子供3人の家族の住まいであり、1階南棟のパブリックスペースと北棟および南棟2階のプライベートスペースは、動線は分けられているが、人の気配の感じられる空間構成である。南棟内部は軸組をあらわしにして、全体的に落ち着いた印象である。現場審査では、細部にわたり設計上の工夫が見られ、好感を持つことができた。

住宅では、生活空間の中で納まりきれずはみ出してしまうモノを放置できる場所が、必要である。ここでは、玄関を入ると正面に見える中庭が、いずれその生活のはみ出しスペースになってしまわないかと懸念した。キッチンのサービステラスになりそうである。この中間領域のあり方が、より開放的で、かつ生活のはみ出しを包括する要素があると、あまり生活感には気にならない。と同時に、この3分棟の構成の明快さを追求することは、表現の強度が増すと感じた。

住宅の設計で求められるのは、魅力的な建築であること、住む人の価値観に合うことだけではない。それに加えて、きちんと納めながらも、限られた空間の中でラフな生活を許す設計により、長く住み続けられることである、と私は考える。

[寺岡整形外科病院]



設計者 (株)竹中工務店広島一級建築士事務所

施工者 (株)竹中工務店広島支店

建築概要	建設地	福山市南本庄町	用途	病院
	構造規模	RC造、一部S造 地上6階建	延面積	7,317 m ²

[推薦概要]

医療施設の改築・更新時における、既存建物の解体及び改修保存範囲、更には運営をしながらの安全な工事等は共通する難題であるが、巧みな建築計画と緻密な施工計画で克服した好例である。

新病棟は解体部分のみでの狭い敷地条件下である事よる、平面・断面計画において機能構成上の分析を行い特性のある合理性を導き出している。又ダブルコリドー型の採用を行う事で機能が明確になり周遊性や安全性の他、既存改修棟との導線確保も良く出来ている。特に外来診察部門にインナートップライトや吹き抜けギャラリーの配慮をするなど、明るくてアメニティーを感じる空間となっている。

各部位の詳細についても、堅実で施工性の良い納まりで品質の高さがうかがえる。

立面計画は、グリッド状の架構を採用することによって直射光を制御する事や自由な採光計画へと両面の効果を出している。

屋上階には地域貢献の為の講堂の設置やリハビリを兼ねた庭園を配して、全体的にバランスのとれた端正で品位のある病院(作品)として完成しており、地域の顔としても期待に応えている。

[海雲ビル]



設計者 大成建設(株)中国支店一級建築士事務所

施工者 大成建設(株)中国支店

建築概要

建設地	広島市中区	用途	事務所
構造規模	S造 地上4階、屋上1階建	延面積	2,912 m ²

[推薦概要]

広島市の100メートル道路に面した敷地に建つ、賃貸オフィスビルの作品である。賃貸のオフィスビルは採算性が最も高度に要求されるため、建築設計はローコストによる建設コスト、ランニングコストの節約という制約との戦いとなる。その結果ありふれた建築設計の解法の集積となる場合が多いが、この作品はローコストをバランスの良い構造で実現しながら、細部に設計技術とセンスのきらめきがファサードデザイン、執務空間デザイン、階段室デザイン、トイレデザインの隅々にまで行き渡っている切れ味のよい建築設計技術の集積となっている。

また場所の特性としての敷地前面の道路の並木の緑を執務室内まで引き入れることでこの場所でしか味わえない、樹上のオフィス空間のような生き生きとした新鮮な執務空間を実現している。仕事の場所を自然の恵みに満ちた快適な場所にするために延焼距離やファサードの袖壁の工夫によって、網入りガラスの使用が避けられて完全に透明のガラスがファサードに使われるなどすぐれた建築設計技術が駆使された作品である。